

令和4年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	こども創作活動館		
管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団	指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日
担当課	東区健康福祉課		
所在地	新潟市東区牡丹山1丁目33番23号		
根拠法令			
設置条例	新潟市こども創作活動館条例		
施設概要	構造 木造2階建て（2階部分は閉鎖） 敷地面積 2,707㎡ 延床面積 993.79㎡ 施設内容 ・粘土・陶芸の部屋 ・絵画・版画・工作の部屋 他 駐車場 13台		

施設設置目的
文化活動や遊びを通して、創造性豊かで健全な子どもの育成を図ることを目的とした施設
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>(1) 基本理念 文化活動や遊びを通して、創造性豊かで健全な子どもの育成を図る。</p> <p>(2) 基本方針 「安全」「安心」「快適」の実現を目指し、市民のニーズに応えつつ親しまれる館の運営に努める。 ・心豊かな子どもの育成を目指し、創作活動や鑑賞活動などの文化活動を通して、親子の触れ合いや学校・地域を越えた子どもたちの交流の場を提供し、子どもの成長を支援する。 ・子どもの健やかな心身の発達と社会性を育てるために、安全で健全な遊び場を提供する。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	事業だより、ホームページ等によることも創作活動館の活動に関する情報発信 2回以上/月	・行事だより、ホームページ、館内掲示等情報を発信している。 ・便りは毎月、近隣の学校に家庭数配布、HPは週2回以上活動の様子等情報発信している。	B	ホームページや区だより、家庭配布用の便り等により情報発信に努めた。
	基準利用者数の達成	来館者数(年)30,000人以上	(R4来館者数) 30,403人	B	コロナ禍前の水準に戻ってきている。
	利用者の満足度	利用者アンケートの実施 2回以上/年	アンケート 17回/年	A	アンケート回数は目標を達成しており、利用者の満足度も高い。
	苦情・要望に対する対応	原則1週間以内の回答 苦情・要望の対応マニュアルの整備	・原則1週間以内に回答した。 ・苦情・要望の対応マニュアルは整備済み	B	マニュアルを作成し、苦情・要望に対する回答は目標期日以内に回答した。
	事業の実施	・工作事業の実施数 3回以上/週 ・地域との連携事業実施数 1回以上/年	・工作事業は 毎日 ・地域との連携事業は年3回実施、学校関係との連携24日間	B	事業の実施は目標以上の回数を行い、地域と連携した事業も予定どおり行った。
財 務	業務の効率化	施設利用者1人当たり運営経費 1,000円以下	1人当たり559円	A	目標を大きく上回り、効率的に運営されている。
業 務	設置目的の理解	・地域運営委員会の実施数 2回以上/年 ・業務仕様書に定める事項の遵守 違反回数0回 ・建築設備の保守管理 協定書に定める回数以上	・地域運営委員会6月2月に年2回実施 ・業務仕様書に定める事項の遵守	B	目標を達成している。
	情報の伝達と共有	苦情・事故発生時の早期報告	苦情・事故発生時は早期報告に徹し、全職員に周知と注意喚起を行った。必要なことは、健康福祉課にも報告した。	B	職員間の情報共有が適切になされている。
	安全安心の確保	防災訓練実施回数2回以上	防災・消防訓練を年2回実施	B	予定どおり適切な訓練を行った。
	コンプライアンスの確立	関係法令の遵守、個人情報等の守 秘義務マニュアルの整備	法令の遵守、マニュアルの整備を行ったうえ、月に1回、全職員で確認した。	B	マニュアルに基づき定期的に確認を行った。
	業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	B	遵守している。
人 材	配置人員条件の水準維持・育成の適切性	業務仕様書に定める人員配置 配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度 年2回以上の研修実施	・人員の水準維持と不足のない配置を心がけた。 ・研修は対面とWebで計2回実施した。	B	条件どおりの人員確保がなされており、育成も目標どおり行っている。

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
 B: 要求水準(評価指標)が達成されている
 C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

・運営3年目は、コロナ禍であったが、毎日開館することができた。夏の大雨、冬の大雪等あったが、幼児親子や小中学生の利用者は、前年度より増えた。延べ来館者数は、目標である3万人を達成することができた。今年度は、木戸小や竹尾小など近隣の小学生の利用が増え、子どもたちの放課後の居場所となっている。また、区報やHPを通して情報が広まり、子育て世帯の居場所になってきていると思われる。特に幼児イベントに参加する母親の癒しの時間となっていると感じる。
 ・新規登録者数は、今年度も1000人を超えた。仕様書を遵守し、子どもたちの様子を見ながら、スタッフは、子どもと遊び、話を聞くなど、子ども目線がかかわっている。こども創が、子どもたちの放課後の居場所となるように、愛情をもって接するよう心がけている。家庭的に目を配る必要のある子もいるが、みんなで見守っている。子どもの願いを大切にするため、「子ども会議」を開くこともできた。他学校、異学年交流の場としても重要な役割を担っていると感じる。また、中学生が勉強したり友達とおしゃべりしたりする場にもなっている。子どもたちのニーズに合わせ、おひるごはん食堂や学習の場の提供もできた。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

施設の設置目的を理解し、管理・運営に関する基本理念、方針等に基づいた適切な管理運営が行われている。
 利用者からの意見・要望に応えるとともに、利用者の安全を第一に考え、適切に対応している。
 職員の資質向上に努めながら、利用者の高い満足度を維持し、サービスの提供を行っている。
 以上のことから、指定管理者として良好であると評価できる。
 今後も、各種事業を通じて利用者のニーズに適したサービス提供と事業展開について、一層の充実に期待している。